



広報

1

No.524

1998 平成10年

月号

いちじゅう

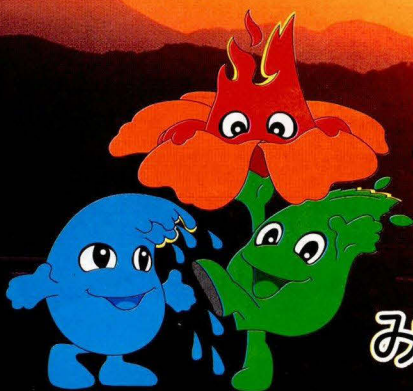
今年も
楽しい一年に
なりますように



オヤニラミの
ぎよろちゃん。

元旦の日の出と共に新しい1年のスタートです。
今年もみなさまにとってすばらしい年でありますよう
心からお祈りいたします。

謹賀新年



みんなで成功させよう。くまもと未来国体



『一人一人の幸せを求めて』 町長 緒方 奨



あけましておめでとございます。
ご家族おそろいで、さわやかな新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、日本の経済の根幹をゆるがすようなできごとがあり、不況の波は七城の地までおしよせてまいりました。このような中で、七城町は、不況の波を必死に払いのけ、地域に根ざした町の振興策を考え、実行に移してまいりました。

おかげをもちまして、日本の中の小さな小さな町が、情報の発信基地として、県内はもちろん、遠く首都圏にまでその名をはせることができました。

1998年は、いよいよ情報の発信基地から、農業・商工業・福祉・教育・観光の先進地として、大きくはばたかねばならない年であると思えます。

ご存知のように「日本一おいしい米」と折り紙をつけられた「七城米」は、口こみや首都圏在住者、テレビ等の情報発

信によって、販路が拡大の一途をたどっています。冬場のメロンにいたっては、生産が追いつかない状況下でございます。また、七城温泉・メロンドーム等を通して七城町を訪れる観光客もふえつづけています。

教育面におきましても、七城の自然と結びつけた教育方針は、多くの方々の注目をひいていますし、蘇崎・林原工業団地への企業の進出も着々とすすんでおります。

本年は、工場の進出、小学校体育館の建設、国体サッカー場の完成、下水道事業の継続等、美しい町、田園文化のかおる町へ向かって、一步一步前進していくと考えます。

このような発展の中で、町民一人一人が本当の幸せを味わい、高齢者や障害者の方々が「七城町に住んでよかった」と真にあじわうことのできる福祉の里づくりを目指して助け合い、励ましあつていきます。町民一人一人が幸せの多い年であり、まずことを祈念してご挨拶いたします。

『住みよい町づくりを目指して』 議会議員 境 和則



新年あけましておめでとございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町民の皆様には、常日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大な御協力を賜り厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして昨年も着実に発展への基盤を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、本町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎる思いです。今日は、大転換期を迎えています。一昨年の住専問題に端を発した大手金融、証券会社の自主廃業を

始めとして、行政の肥大化、財政の大幅赤字等、大きな問題を抱えております。今こそ規制緩和、行財政改革を思い切つて行ない、活力を取り戻す必要があると思えます。

町内におきましては、町のシンボルともいえる温泉会館が「温泉ドーム」と名称を変えリニューアルオープンし、連日盛況の賑わいをみせていることは大変喜

ばしいこととあります。

又、若年層の人口増加と少子化傾向の歯止めを期待される雇用促進住宅も完成し、当初不安でありました入居もほぼ満室と聞いております。

さらには、首都圏で料理情報誌を発行する料理新聞社の食味会で七城町産のヒノヒカリが全国の銘柄米をしのぎ、おいしい米ナンバーワンになり「七城ブランド米」の確立をものにした事は、本町の基幹産業である農業にも希望がもてる明るいニュースであらうと思えます。

来年、平成11年には第54回国民体育大会が熊本県で開催され、本町でも成年女子サッカー競技が予定されております。その会場予定地も整備に着手致しまして立派な競技場ができるものと期待するものであります。

今後におきましては、本当の豊かさとは何か、心の豊かさとは何かを、この大変な時期だからこそ考えてみる必要があるのではないのでしょうか。町民皆様方一人一人の英知を基本に私ども議決機関は今後さらに創意工夫を重ね、住みよい町づくりを目指し、御期待に沿うよう決意を新たにしております。

町民皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げまして新年のごあいさつと致します。

…保育所入所について…

児童福祉法一部改正

平成10年4月1日より施行

平成10年度から次のように変更になります。

- 「入所措置」を「保育の実施」に…
- 「保育所入所申請」を「保育所入所申込」に…

- 保護者が希望する保育所を選択する事ができる
 - 保育の実施期間を希望により、小学校就学期までの範囲内で申し込むことができる
- このように利用者本位の仕組みに改められます。

皆保育園

地域に根ざした保育園として、七城町生涯福祉学習のテーマをもとに保育目標を『元気で明るくたくましい子』にあげています。

- 基本的な生活習慣の確立と生活経験を通して思ったこと、感じたことを身体で表現できる子供。
- 集団生活の中で、決まりや約束を守り、協調性を養い身近な社会に目を向ける子供。
- 心身共に健康で、情緒豊かな思いやりのある子供。

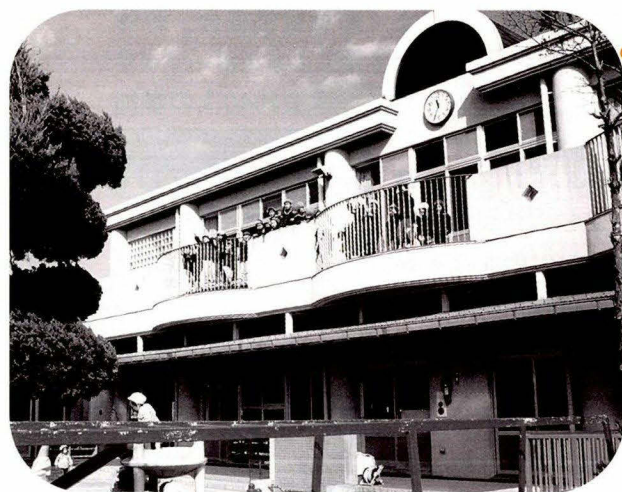
児童の健全な心身の育成と充実を図ることを目指します。



加茂川保育園

一人一人どの子も生き生きし、目が輝いている子供達であってほしい。そんな子供達が一日の大半を過ごす加茂川保育園は、温かくゆったりと過ごせる家庭の雰囲気と、自分のやりたい活動にじっくりと取り組んでいく場でありたいと願い、又、働く父親母親をサポートし安心して働ける園づくりを目指しています。

- 【特色】英語レッスン（外人講師とのふれあい）
体操教室（たくましい心と体づくり）
裏千家茶道（日本の心と作法）



清泉保育園

キリスト教の精神に基き、地域に根ざした明るいあたたかい保育園を目指しています。

目標

- 1.健康でいつも感謝の気持ちを持つ。
- 2.望ましい生活習慣を身につける。
- 3.自主と共同の精神を養う。
- 4.生命を大切に感動する子どもに。

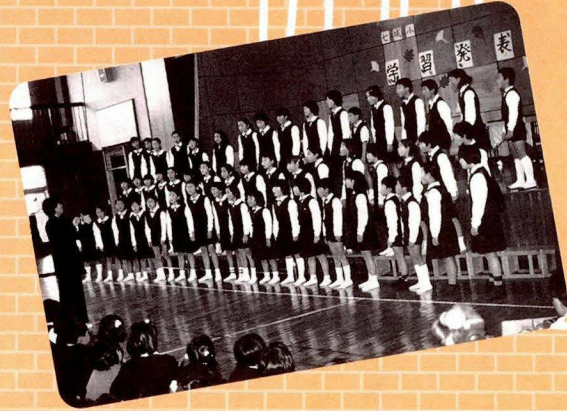
『おいしい給食・元気な体操教室・ご老人との世代間交流・育児講座でたくさんあそぼう！』



みんなの力で“優秀賞”受賞 ～七城小学校合唱部～

11月3日（月）、県立劇場で行われた「熊日学生音楽コンクール」にて小学校の合唱部（53人）が“優秀賞”に輝きました。

曲名は「だいだらぼっちの春」で、指揮者山下いくこ先生は、「各パートリーダーを中心に互いに励まし合い毎日の練習に取り組んだ成果があらわれたものです。」とのことでした。



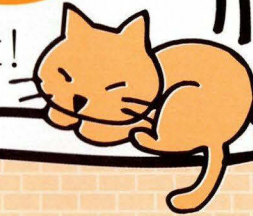
増永歩さん(七城中1年)最優秀賞 ～人権作文コンテスト～

全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会において、応募数141校、26772編の中から、七城中学校1年生の増永歩さん（西郷）の作品「私の左手」が最優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。



まちの できごと

いろ～んな事 がありました!

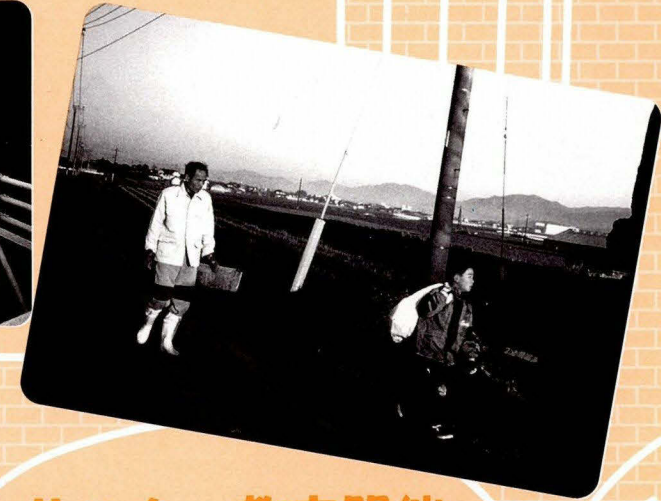
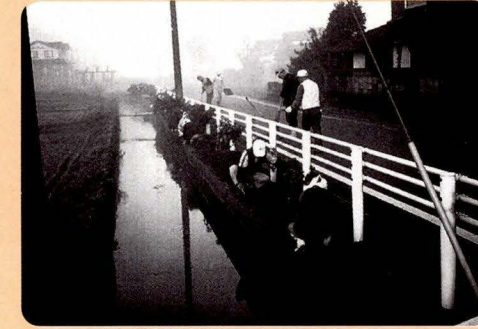


七城町一斉環境美化行動の日 & クリーンクリーンリバーくまもと

11月23日（日）早朝より区長をはじめ子どもからお年寄りまで町民多数の参加により、町の環境美化作業が展開されました。

また、鴨川公園ではクリーンクリーンリバーくまもとによる河川の美化作業が行なわれ、たいへんきれいになりました。

町民の方々の御協力たいへんありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。



サッカー教室開催

11月30日（日）七城小学校グラウンドにて、（財）熊本県体育協会・町教育委員会・町体育レクリエーション協会主催によるスポーツ（サッカー）教室が行われ、小学生約40人の参加がありました。

遠山、小野2人の講師により、基礎練習から試合までの実技をまじえた指導に、小学生たちの目が生き生きと輝いた1日でした。

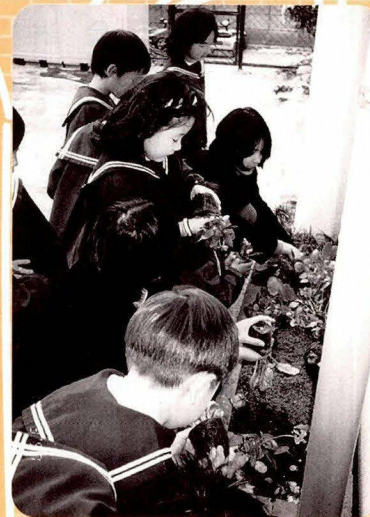
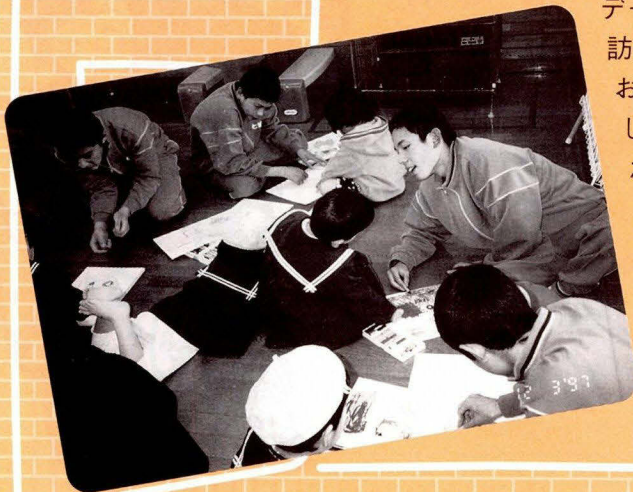


花を通して 心のふれあいを...

七城中学校の3年生は、12月3日（水）6時間目の創意の時間（ふれあいタイム）に町内の幼稚園・保育園に花配りをしました。生徒たちは、学校で種から育てた春の花の苗（パンジー・デージー・ノースポール）を持って各園を訪れ、花植えをし、その後は園児たちとお絵描きや鬼ごっこなどして楽しく交流しました。園児たちも中学生のお兄さんたちとの遊びに大歓声で興じていました。

また、1、2年生の生徒も町内の独り暮らしのお年寄りのお宅を持って訪問し、肩もみをしたりして楽しい語らいのひと時を過ごしました。

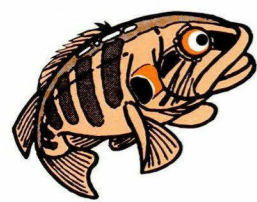
後日、お年寄りの方からは喜びの礼状が幾通も届きました。



小中学生「税の書道・作文 ポスター・標語展」表彰

「税を知る週間」の行事の一環として、11月17日（月）に行われた「税の作品コンクール」で本町の小学校1年生坂本光恵さん（打越）が菊池地区納税貯蓄組合連合会会長賞（書道）を、小学校6年生野田亜希さん（田中）が町長賞（書道）を受賞されました。

このコンクールは毎年行われているもので、次の時代を担う小・中学生に税を身近に感じ、関心をもってもらうことを目的としています。



しちじょうカレンダー

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1 ●元旦	2	3
4	5 ●御用始め式 8:30	6	7 ●消防出初式 訓練 (七城中グラウンド) 8:30	8	9	10 ●消防出初式 (七城中グラウンド) 8:30 ●母親学級 (多目的研修センター) 13:30~15:30
11 ●熊日菊池 マラソン大会 (菊池市浄水センター) 9:00開会 10:00スタート	12	13	14 ●母子家庭に 対する巡回 相談 14:00~16:00 ●超音波検診 再検査 (多目的研修センター)	15 ●成人式 (中央公民館講堂) 10:00	16 ●心配ごと相談 (多目的研修センター) 9:00	17
18 ●第22回町内 一周駅伝大会 9:30開会 10:00スタート	19	20 ●ひとつくり推進 委員会 15:00	21 ●心配ごと相談 (内島公民館) 9:00 ●議会全員 協議会 13:30	22 ●例月出納検査 10:00	23 ●高齢者大学1月 講座 10:00 ●区長会議 13:30 ●県移動図書館 (中央公民館) 13:30 ●リハビリ教室 (老人福祉センター) 14:00~15:30	24
25	26	27 ●農業委員会 13:30 ●小中連絡会 15:00	28 ●乳児健診 (多目的研修センター) 受付時間 9:30~10:00 ●1才6ヶ月健診 (多目的研修センター) 受付時間 13:30~14:00	29	30 ●教育委員会 15:00	31

成人おめでとう

平成10年度 新成人者の方々

平成10年度に新しく大人の仲間入りをされるのは、昭和52年4月2日から、昭和53年4月1日までに生まれた方々です。(転出されている方で、成人式に出席されず方は、早めに七城町教育委員会までご連絡下さい。)
☎0968・25・1580

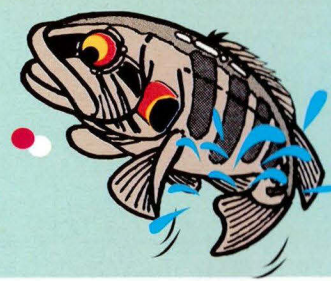
平成10年度成人式式典
期日 平成10年1月15日
(成人の日)
午前10時から
場所 七城町中央公民館講堂



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----------|----------------|----------------|-----------------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|----------|
| 山崎 緒方 里香・緒方 愛子 | 高田 隈部 美穂 | 荒牧 山内 随乃・横枕 希帆 | 岡田 有働 由希 | 上水次 石瀨 大和・岩津 真治 | 神尾 美和 | 流川 徳永 聖賢 | 辺田 福嶋 堅二・中村 恵美 | 福嶋 房江・松本 美里 | 高田 木野 祐樹・横原太希志 | 高田 梶原 幸治・西口 俊輔 | 緒方 洋平・横原 賢樹 | 西口 智美・古川 理枝 | 川口 藍 | 村上 和隆・藤本真理子 | 台 笠 こずえ | 瀬戸口 古庄 祐子 | 甲佐町 五丁 勲 | 宮園 渡辺 大樹 |
| 菰入 本山慎太郎・松田 有沙 | 羽根木 古田 正和 | 五海 出口 武・村上 豊法 | 本村 田代 晃輔・田代 裕和 | 田中 田代 友成・前田 美幸 | 本田真由美 | 加恵 荒木 香織・大島 留美 | 櫛原恵理香 | 東 栄希・坂本 香純 | 竹森友規江 | 蟹穴 上村 雅樹・小池 哲郎 | 小池のぞみ | 間所 佐藤 洋介・梶原 新吾 | 怒留湯進也・西口 祐貴 | 古荘 則之・上村 倫代 | 高木 香織・工藤 千枝 | 梅田 幹子・郷 真由美 | 岩瀬 福島 淳也 | |
| 前川 櫻谷 裕美 | 打越 徳永 勝也 | 林原 徳重 光聖 | 梶迫 木山 高徳・徳永 啓史 | 板井 江藤まゆり | | 井藤 さよ・高野 美幸 | 松本 祐香・井藤めぐみ | 元村 荒倉健一朗・石本 達也 | 牧 美沙緒・古閑 由美 | 内島 高松 哲郎・園田 憲治 | 小野崎 工 正人・松本留美子 | 松島 宮崎 美紀 | 下橋田 坂井美由紀 | 宮崎 藍子 | | | | |



美しく、住み良い町づくりを目指して...

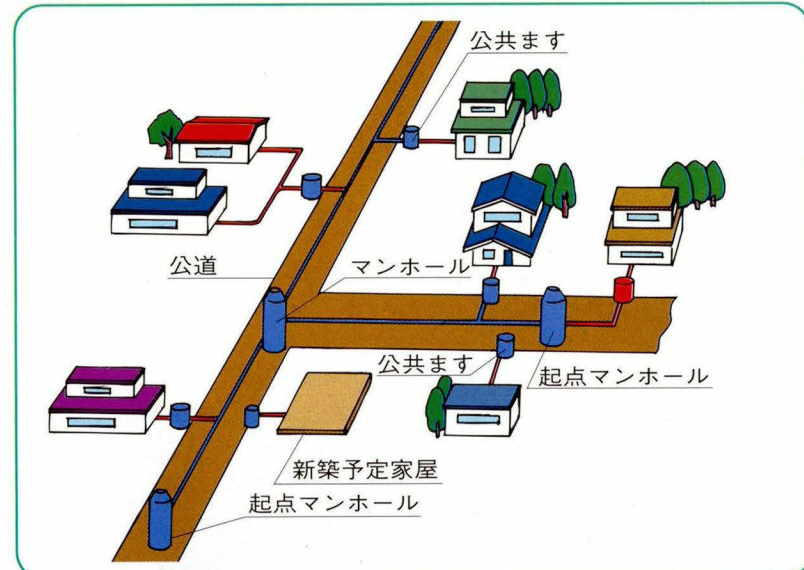
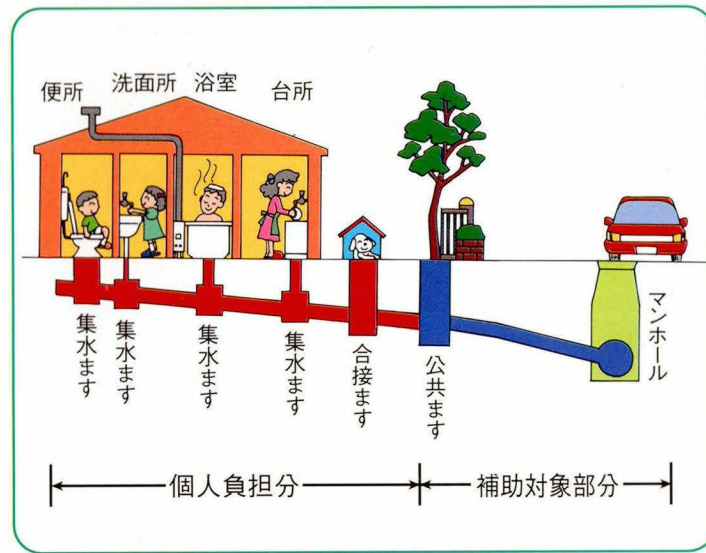


集められた粗大ゴミ

下水道

■下水道整備について
 私達の家庭から流れ出る汚水が集落内外の水路等の水質悪化につながっており、自然環境破壊の原因となっております。そこで生活環境の改善として現在、七城町では下水道工事を実施しています。南部については、延長約3.5キロメートル下水道管の埋設が完了し、現在は、延長約3.4キロメートルを工事しています。また、中央については、羽根木地内を延長570メートル工事しています。北部については、下水道工事は平成10年度から実施の予定で、現在は測量及び調査を実施しております。町民の皆様には通行等に大変御迷惑をおかけしておりますが、ご協力をお願いします。

下水道整備によって、トイレの水洗化ができ、また家庭から流れ出る生活雑排水も下水管に流れ、集落内外の用排水路等に蚊やハエの発生がなくなり生活環境の整備にもつながります。



■下水道加入申し込みについて
 平成9年度より、加入申し込みを受け付けて、分担金を6月より、分割で納入されています。分担金は、一戸当たり8万円です。

まだ加入されていない方は、いつでも加入申し込みを受け付けていますので、よろしくお願います。

■お問い合わせ先
 七城町役場生活環境課
 ☎25-1000 (内線42~44)



■下水道工事状況

ごみ

家庭から出るゴミ問題について
■粗大ゴミについて
 私達の生活様式は、近年多様化しており電化製品等については、使い捨ての時代となっております。七城町では、毎年7月と12月の年2回粗大ゴミ収集を実施していますが、昨年の収集量は、145トンと膨大な量となっており、運搬処理の委託料金は373万4千円支払っています。今年7月の粗大ゴミは99トンで委託料金は、244万6千円と毎年増加しております。

■可燃物について
 可燃物収集量は、平成7年度が192トン、平成8年度は211トンと年々増加傾向にあります。また、最近では廃棄物焼却施設から出るダイオキシン問題では、焼却施設から排出される濃度の基準強化が改正されました。

田畑や河川にビニール類や木材等を焼却されていることがありますので、適正な処理をお願いします。

可燃ゴミ(燃えるもの)
 台所から出る生ゴミ、雑誌、木切れ、紙オムツ、古着、靴等

の燃えるゴミです。生ゴミは水分を十分にきってから可燃袋に入れて搬出してください。

料理等に使用するアルミホイールやペットボトルのスチール、アルミのふたは不燃物です。



●は平成9年度4月から適用。それ以外は平成12年4月から適用。

暮らしのなかのごみ減らし作戦



■不燃物について

空き缶、空きビン等の不燃物収集量は、平成7年度が260トン、平成8年度は270トンあり1年で10トン増加しております。アルミ缶、スチール缶、空きビンの一部については、リサイクル出来しますので各家庭で分別されて搬出してください。

不燃ゴミ(燃えないもの)
 次のように分別して、不燃物の袋に入れて搬出してください。

アルミ缶、スチール缶、ガラス類、金属類、陶器類

町指定の可燃、不燃物の袋に入れて、搬出日の午前8時までに各集落の指定場所に搬出してください。可

燃、不燃物を混入して搬出はしないでください。必ず分別してください。山や用排水路等にゴミを捨てるのは、やめましょう。

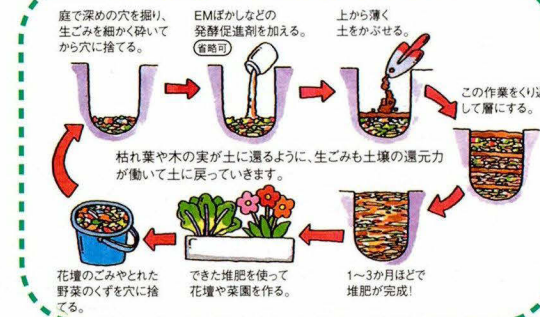
■生ゴミ容器を購入すると補助があります。
 町は、ゴミの減量化の一環として、家庭厨芥類の減量を図るため、生ゴミ処理容器の補助をしています。

補助の対象
 補助の対象となるのは、町内に居住し、処理容器を設置する方。

補助の額
 補助の額は、一世帯当たり、処理容器1器につき3千円を限度として、処理容器購入本体価格の2分の1以内となります。

持参するもの
 生ゴミ処理容器購入代金領収書、印鑑詳しいことは、生活環境課にお尋ねください。

堆肥で小さな生態系を作ろう



農業用機械の軽油免税証の申請書受付について

農業用の機械に使用する軽油の免税手続きについて、下記の日程により実施しますので、お知らせします。

記

受付日 単独で申請される方→平成10年2月2日（月）
共同で申請される方→平成10年2月10日（火）

受付時間 午前9時から午後4時まで
（但し正午から1時までは除く）

受付場所 熊本県菊池事務所 別館2階 第1小会議室
菊池市隈府1272-10

必要書類

- (1) 免税軽油使用者証
（初めて申請される方は不要）
- (2) 耕作証明書
- (3) たばこ耕作証明書
（葉たばこを栽培されている方のみ）
- (4) 機械証明書（以下のどれかに該当される方は必要。①初めて申請される方、②免税軽油使用者証の有効期限が平成10年2月28日以前の方、③機械を変更された方）
- (5) 印鑑（認印で可）

注意事項

- (1) 当日は、作物の作付状況等について聞き取りを行います。
- (2) 軽油の数量は、耕作証明書の面積と機械証明書に記載されている機械により計算しますので、事前に証明書の内容の確認をお願いします。

問い合わせ 熊本県菊池事務所 税務課 課税係まで
☎25-4111（内線334・335）

漁業規制の改正について

菊池川漁業協同組合では、水産動物の繁殖保護、水産資源および漁場の管理等を行い、より豊かな美しい川となるよう事業を展開しております。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

今回は共同漁業権の行使規則（遊漁規則）および遊漁料の一部改正を行いました。平成10年度より実施となりますが、おもな改正点は次のとおりです。^(円)

	年券	日券
①釣	2,000	500
②鯉釣	3,000	700
③投網	4,000	1,300
④刺網	8,000	—
⑤船刺網	20,000	—
⑥鮎掛け	4,000	1,300
⑦うなぎてぼ	2,000	—
⑧しじみ	20,000	3,000

1. 稚魚の採捕を防ぐため、投網は5月1日より6月30日まで網目8分目（2.45センチメートル）以下は禁止です。
2. 河川に親しんでもらおうという主旨から70歳以上の高齢者、身体障害者、中学生については半額（年券のみ）になります。
また中学生以下の釣、鯉釣については無料になります。

お問い合わせは
菊池川漁業協同組合 ☎43-2369

日曜・休日在宅当番医表

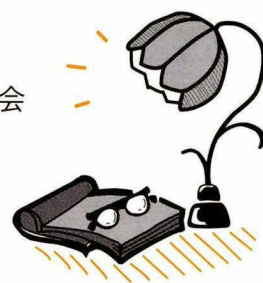
月日	医療機関名	主な診療科目	住所	電話
1月4日 (日曜)	牧診療所 斎藤産婦人科医院	内・外・消・胃・放 産・婦	菊池市深川400 菊池市片角西原294-2	25-2317 24-1177
1月11日 (日曜)	菊池都市医師会立病院 菊池中央病院	内 外・整・脳外・内・他	菊池市亘366 菊池市隈府北原494	25-2191 25-3141
1月15日 (祝日)	藤本医院 中村外科医院	内 外・整・胃・皮	菊池市隈府栄町776 菊池市隈府北原630	25-2265 25-0111
1月18日 (日曜)	宮本医院 後藤整形外科医院	内・小・循・消 整・リハ	菊池市隈府栄町775 菊池市隈府栄町923	25-2047 25-2906
1月25日 (日曜)	隈部医院 米田産婦人科医院	内・呼・消・胃・放 産・婦・麻	菊池市隈府西正観寺1015 菊池市隈府北原497-1	25-2851 25-2589

移動図書館巡回について

平成10年1月23日（金）、午後1時30分に熊本県立図書館の移動図書館が、七城町中央公民館に巡回して来ます。

ご利用の方はよろしくお願いいたします。

問い合わせ先
町教育委員会
☎25-1580



見逃さないでチェックしてね!

お知らせ

INFORMATION

伝言板



七城町在宅寝たきり老人等介護者手当について

町では、在宅福祉の充実並びに支援推進の為、老人等介護者手当支給制度を実施しています。

平成9年4月1日以降、下記の状態にある者を在宅介護している方に月額1万円の手当てが支給されます。

記

- 1、おおむね65才以上の者で寝たきりの状態にある者
（全介助が1項目以上、かつ一部介助が2項目以上ある状態の者）
- 2、おおむね65才以上の者で痴呆の状態にあり、かつ常時介護を必要とすると医師が認めた者
（医師の診断書が必要）

在宅介護が対象です。
この状態にあり、該当される方は、各地区担当の民生委員さん、又は役場福祉係へお申し出下さい。

手当て支給は年度末となります。



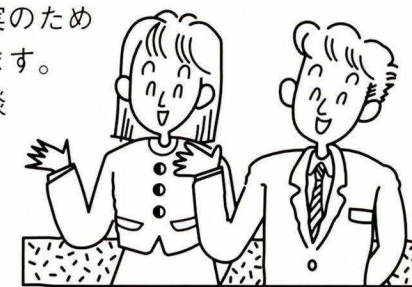
七城町 民生委員・児童委員

町民生委員・児童委員のみなさんをご紹介します。

任期：平成7年12月1日から平成10年11月30日

氏名	担当地区	電話番号
小林 修	山崎・上水次・下水次	24-3370
隈部綾子	岡田・荒牧・流川・辺田	25-4735
榎原宏子	高田・台・瀬戸口	24-3086
瀬田健一	新古閑・清水・宮園	24-3614
嶋田時枝	戸田島・田中・本村	24-0738
中村妙子	甲佐町・菰入・加恵	24-3653
園木妙子	五海・蟹穴・西郷・羽根木	25-4049
前田教子	間所	24-0518
田代國臣	岩瀬・梶迫・前川・板井	26-4420
園田 泉	林原・内島・元村・新村・打越	26-4532
村上精士	小野崎・下橋田・松島・上橋田	26-4706
加藤朱美	主任児童委員	25-4034

地域福祉の充実のため活動されています。お気軽にご相談下さい。





霜月歩こう会記



嘗て経験したことのない異常気象の今秋、先日の農業公園でお米フェスタの際、清和村の人から「今年は二十日までぐらいは紅葉は大丈夫観れますばい」。諦めていた物見高い血が騒ぎ出したので取急ぎ実行に移る。思えば冷たい雨に打たれ降車する人も少なく、車内で泣きべそと共に弁当食った高千穂峡の紅葉が「早うおいで」と招く。五年前の脳裏を掠める。ならば途中のことで寄道をして新しくもと百景の一つ、鶴戸神宮と関東の一つ、日本の三大下り宮で名高い高森町草部の吉見神社に詣でよう。神社は坂を上って高い所に鎮まりますのが普通だがこれは



里人たちが道案内して大蛇の棲む吉野が池に到着。沼はドス黒く苔むした古木が茂り、凄まじい面を見せた大蛇が猛々しく火を噴いて向ってくるが、ハッタと睨みつけた命はひるむことなく渾身の力でスタスタに切り

鳥居の真下に神社がある。探ね回ること数回の後、百参拾段の石段の目の下には黄色い銀杏の葉に覆われた神殿は、神秘的な雰囲気を醸すべく樹齢百年の大杉が聳えて神々しい感じ。神武天皇が大和に遷られてよりの三代目の彦八井の命が祭神。命は神武六十九年八月五日勅命により草部の郷で猛威を奮う大蛇を征伐して民人を安堵させるため能代の宮を立ち、馬見原に寄り戦勝を祈願して草部を目指される。

麟が石段を下りかけると満々と水をたたえた沼が見る間にせり上り、屋根をわずかに残すほど増水して、大蛇が水中から凄まじい形相で大将を睨みつけたので

灰は近くの野原にばら撒かれた。高森町「大字灰原」の名はこれが起源という。命は沼の水を東の谷に流し池を埋たて宮居を建て屋根や壁を草で葺かれた故事から「草壁」と謂い、後年訛って「草部」と名付けられたとか。今日は池には緋鯉が三尾静かに泳いでいる。命が大蛇と格闘する大絵馬に胸うちたれて拍手を打って頭を下げていと、女宮司さんからお拂いを授かり歩こう会員全員に御神酒を頂戴して感激。成る程今日は十五日。七五三の参拝の御相伴に預かったわけので何やら運が良い。

【意識】 黄いろく熟れた蜜柑畑がすぐ後までせまっている。前方を見ると広々とした有明海が一陣の下に収められる。弓の様にまがった湾内にある河内の町の眺めはすばらしく美しい。私達旅人は旅の疲れを癒すため、温泉会館で暫く休憩した。

吉野が池に到着。沼はドス黒く苔むした古木が茂り、凄まじい面を見せた大蛇が猛々しく火を噴いて向ってくるが、ハッタと睨みつけた命はひるむことなく渾身の力でスタスタに切り

鳥居の真下に神社がある。探ね回ること数回の後、百参拾段の石段の目の下には黄色い銀杏の葉に覆われた神殿は、神秘的な雰囲気を醸すべく樹齢百年の大杉が聳えて神々しい感じ。神武天皇が大和に遷られてよりの三代目の彦八井の命が祭神。命は神武六十九年八月五日勅命により草部の郷で猛威を奮う大蛇を征伐して民人を安堵させるため能代の宮を立ち、馬見原に寄り戦勝を祈願して草部を目指される。

麟が石段を下りかけると満々と水をたたえた沼が見る間にせり上り、屋根をわずかに残すほど増水して、大蛇が水中から凄まじい形相で大将を睨みつけたので

灰は近くの野原にばら撒かれた。高森町「大字灰原」の名はこれが起源という。命は沼の水を東の谷に流し池を埋たて宮居を建て屋根や壁を草で葺かれた故事から「草壁」と謂い、後年訛って「草部」と名付けられたとか。今日は池には緋鯉が三尾静かに泳いでいる。命が大蛇と格闘する大絵馬に胸うちたれて拍手を打って頭を下げていと、女宮司さんからお拂いを授かり歩こう会員全員に御神酒を頂戴して感激。成る程今日は十五日。七五三の参拝の御相伴に預かったわけので何やら運が良い。

【語訳】 茫茫(広々)としてはではない様 紫海(有明海) 風光(景色) 明媚(山や水の景色がすぐれている) 弓湾(弓の様にまがった湾) 海樓(海辺のたかどの) (ここでは温泉会館を云う)

歩こう会同行記(漢詩) 石本誠喜

訪河内

黄熟 柑園 背後道
茫茫 紫海 眼前収
風光明媚 弓湾上
行客癒疲 憩海樓



けんこうの ひろば
今回は『痛風・高尿酸血症を防ぐ』について

痛風と高尿酸血症とは
痛風は古くから、美食やアルコール摂取との関連で「帝王病」として知られていました。明治以前には、日本には痛風はほとんどないと言われていましたが、ここ30〜40年の間に急速に患者が増えています。体内に、たんぱく質をつくる物質の一部にプリン体

と呼ばれるものがあります。このプリン体が体内で分解されて、最終的に尿酸になり、体外へ排泄されず。ところが、なんらかの原因で尿酸が過剰になると高尿酸血症となります。ほとんどの人は、高尿酸血症となっても、痛風は起きませんが、一部の人では尿酸塩が関節に沈着し、急性関節炎が出現します。この状態が痛風です。



■高尿酸血症の原因
先天的に尿酸の産生が著しい人や排泄がうまくいかない人がおり、尿酸が高濃度になることもあります。このほか、血中尿酸が高くなりやすい人は、食事からの総エネルギー摂取が多いことや、プリン体の多い食品の摂取によって尿酸の体内合成が促進され、高尿酸血症の原因となります。一方、アルコールや腎障害、利尿剤などは尿酸の排泄を低下させ、これもまた高尿酸血症の原因となります。

- 痛風予防の基本
- ① 美食をしない。
 - ② 水分をたっぷり取る。
 - ③ 肥満を予防する。
 - ④ 野菜、海藻類を十分に取る。
 - ⑤ お酒をひかえる。
 - ⑥ だし汁は昆布を。(煮干しやカツオ節などはひかえたほうが安心)
 - ⑦ 適度な運動を。
 - ⑧ お酒の肴は白身魚、チーズ、野菜類、海藻類、豆類などを。
 - ⑨ プリン体の多い食品をひかえる。調理のときはゆでてから使うのも良い。



プリン体を多く含む食品
レバーなど動物の内臓・イワシ・アジ・エビ・煮干し・カツオ節など

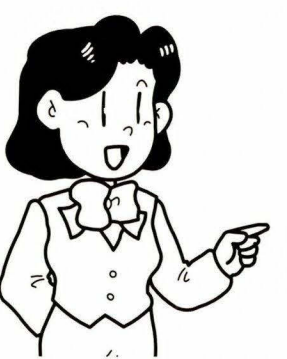
■食事による痛風の予防

平成9年度
在宅(管理)栄養士
実態調査

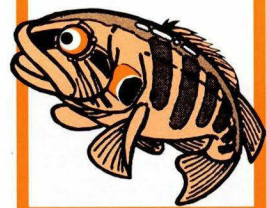
今年度、県では在宅(管理)栄養士の登録及び名簿作成のための実態調査をすることにいたしました。つきましては、当保健所及び役場の窓口で調査票を用意しておりますので、該当される方はご記入のうえ、それぞれの窓口へお持ちいただきようお願いいたします。

○調査実施期間
平成9年12月20日から平成10年1月末まで

○お問い合わせ先
熊本県菊池保健所 保健予防課
☎25・4155



七城町史跡めぐり友の会



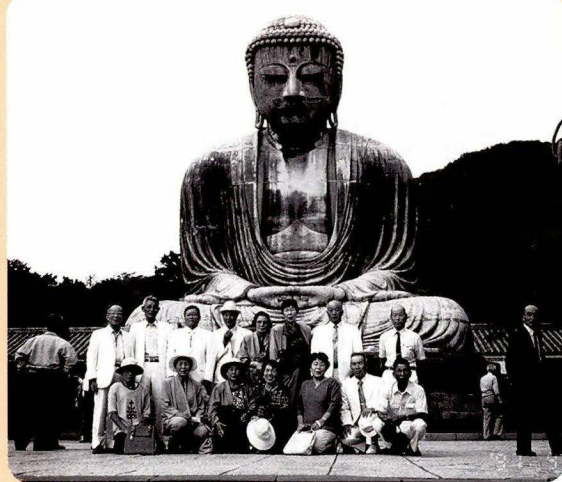
「古都鎌倉を尋ねて(その二)」

文責 文化財保護委員 岩崎清継

紙面の都合で小田原・江の島の部を割愛せざるを得なくなり、本来の目的の鎌倉について書き始めます。

小学校時代に口ずさんだ鎌倉の唱歌を思い出しては「長谷の大佛おはします」とか「建

長、円覚古寺の山門高き松風に、昔の人を偲ぶる」等と鎌倉に対する思いを馳せているうちに、車窓より稲村ガ崎



▲長谷の大佛前で記念写真

を通過しました。

元弘三年(一一三三年)新

田義貞は鎌倉攻めの際に、仮粧坂口と稲村口から攻撃しました。義貞は竜神に祈願をこめて岬から剣を海中に投じると潮がにわかひき、大軍が一挙に攻め入ることが出来たと伝えます。

次に長谷の大佛へ。大佛は台風、津波に襲われ、正徳二年(一一七二)の火災から後には「露座の大佛」というようになつたそうです。おだやかな美男の顔を拝して、一時陶酔の域にひたりました。

時も過ぎて鶴ガ岡八幡宮に着き先ず感じたのが、参道の段葛です。源頼朝は治承四年(一一八〇)、道路を十米も

とって、参道を段葛として交通に供しています。現在は上り下りの車道として使用しているの、離合出来ず少々不便さもありますが、札幌の幅百米の道路を思い浮かべ、鶴

ガ岡八幡宮の参道として、八

百年の昔に、ミニ札幌道をつ

つ参拝しました。境内では静御前が義経を慕って舞った舞殿を見て、陰れ銀杏が石段横に樹齢七百年を越す姿を見せ

ていました。建保六年(一一二八)頼家の子公暁が、この木に隠れ、叔父の將軍実朝を暗殺しました。現在ハリスが数匹棲みついて、観光客の手の飼をとりに来るまでに馴れて、可愛い姿を振舞っています。

その後、友の会は鎌倉宮に参るべく足を運んでいたが、足痛の為断念して旅館へ戻ってしまいました。

翌二十六日は朝より雨にて各自傘をさしての観光となりました。案内の石黒先生と共に先ず建長寺。鎌倉五山の筆頭として禅宗道場の尊厳にうたれ、我々のお寺のイメージと違い、総門、山門、仏殿、



▲鶴ガ岡八幡宮

法堂、庭園、唐門、西来院等一つの御仏堂でなく、数多の建物があり、その規模の大きさに驚き一杯でした。

亀ガ谷切通しを歩いて登り下りして、鎌倉の守備の堅固さを味わいつつ、寿福寺等裏山は源氏山の説明を聞きつつぞろぞろと、宝戒寺へ。又の名をはぎ寺とも云い、一三三五年に建立されたとのこと

です。雨でしづくの滴る萩を押し上げ押し上げしながら歩きました。北条高時の腹切やぐらまで坂道をあえぎあえぎ登りました。雑木の覆い繁ったこんな所と思ひ、石黒先生の話に耳を傾け、妙隆寺、蛭子神社を通り、最後に本覚寺に参詣しました。雨も上つて若宮大通、鶴ガ岡会館に到着し、バスの人となり、油壺へ向いました。

しちじょう・ぴいぐる

町の人動き、冠婚葬祭情報

人口の動き	
平成9年11月末現在 ()内の数字は前月比	
世帯数	1,643世帯 (+7)
総人口	6,206人 (+24)
男性	2,958人 (+15)
女性	3,248人 (+9)

- 甲佐町 矢野 直幸 (孝浩・悦子)
- 高田 木村 亮太 (哲雄・智恵)
- 元村 木村 由依 (克幸・美由紀)
- 流川 松本 敦弥 (盛洋・薫)
- 内島 田代 純平 (雄二・晴美)

誕生おめでとう



末永くお幸せに

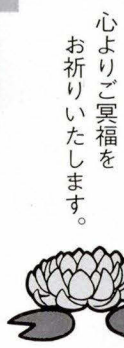
- 甲佐町 松本 大輔 (吉澤 裕美)
- 甲佐町 山内 潤 (秋吉由華光)
- 菊池市 島永 厚彦 (草場 直美)

結婚おめでとう

おくやみ

- 辺田 筑紫 フミ (97歳)
- 間所 古賀ツルエ (92歳)
- 五海 高木 良友 (76歳)
- 蟹穴 片山 トミ (67歳)

香典返し



心よりご冥福をお祈りいたします。

- 辺田 筑紫 キヨ (筑紫 フミ様)
- 間所 古賀 正明 (古賀ツルエ様)
- 五海 高木 良精 (高木 良友様)

一般寄付



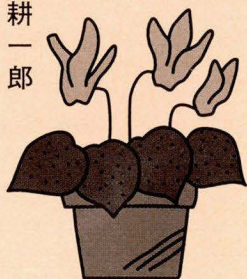
ご寄付をいただきましたので、ここに報告しお礼申し上げます。

- 町社会福祉協議会へ
- 七城町特産品加工グループ様
 - 五海 高木 良精様
 - 役場・多目的研修センターへ
 - 小野崎 加藤 史朗様

十一月詠草

短歌の窓

指導者 上村耕一郎



手を叩きつつ立上れば

植込みし葉牡丹が夕闇に灯りをともす

久し振り畑を見に行く眞昼どき介護の夫を暫し離れて

間所 水田紗陽子

靖国の宮に額ずき目つむりし我が前に立つ夫若々し

流川 森 道子

菊花展の会場に入りしせつなより我が眼驚き足も進まず

孤入 本田寿美子

み社の苑行く吾の肩の辺に銀杏の葉さらさらと落つ

甲佐町 長尾とよ子

情憎のいづれか知らず包丁をあてて

柚子の香に身は染まりたり

梶 迫 下川つぎお

十五夜の月照り渡る露天風呂身じろげば黄金のさざ波が立つ

上橋田 村上 幾雄

新調のセーター妻に着せられて歩ませらるる夜の畳を

清水 佐々 重弘

坂道をベタル踏みつつ昇り居る人間吾を蝶が越し行く

五海 西村 澄子

熟柿に群なしし鴉今何処柿無き庭に今朝時雨降る

加恵 栗原 文江

編集後記



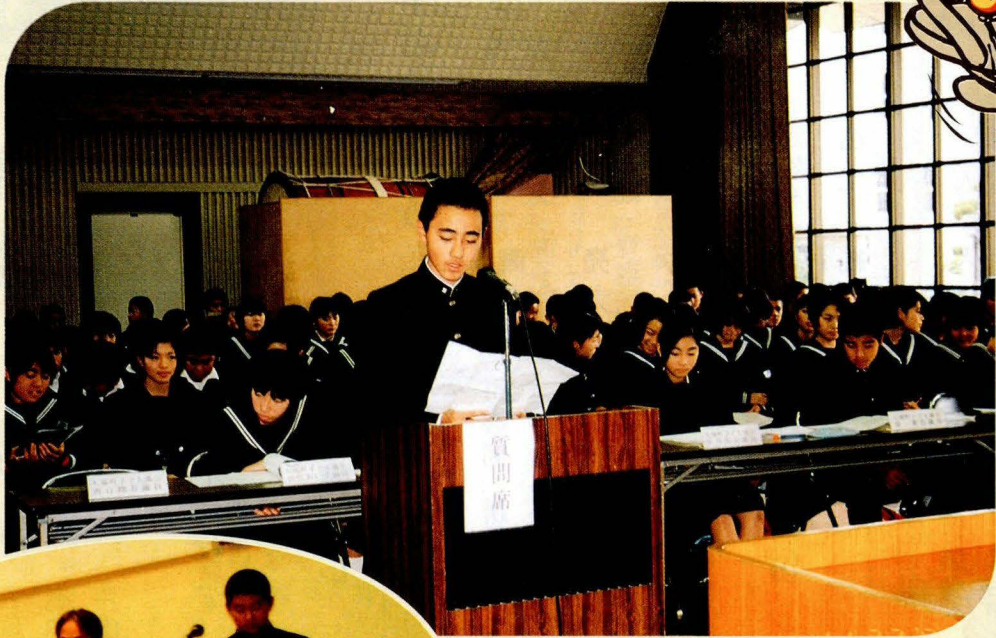
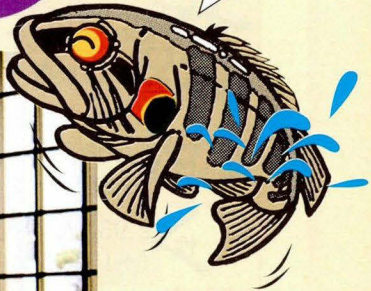
あけましておめでとうございます。今年も広報「しちじょう」共々よろしく願いいたします。さて今回は、広報「しちじょう」を今まで以上に良いものにするために皆さまのご意見・ご要望をお聞かせ頂ければと思います。「このような広報誌にしては?」「わが家のアイドルを復活させてほしい」などなど、ハガキ・手紙、または役場企画開発課カウンター備付けの用紙にたくさんのお答えをお待ちしております。七城町みんなの広報誌を目指して…

トピックス

私たちの声を
聞いて!

子ども議会

みんな
がっこいいぞ〜



11月22日(土)町中央公民館において、
子供たちに地域をよく知ってもらい、子供
たち自身が住み良い町づくりに参加してい
ることを認識してもらうための、町議会の模
擬議会として「子ども議会」が開催されました。

最初に、緒方町長より小・中学校より選出された西
口翔吾君を議長とする13名(小学校6名、中学校7名)一人
ひとりに一日議員の辞令が交付されました。

子ども議会は「一般質問」ということで、町の下水道や河川への環境整備、高齢
化社会に伴う福祉対策、農業振興、観光開発等行政全般にわたり、
日頃、子供たちが思っている素直な町づくりへの疑問、要望等
をアンケートやグラフ等により鋭い質問が相次ぎました。中には、
小学生子ども議員から「昨年要望した保健室のクーラーがす
ぐ設置されて良かった。」という一幕もありました。

答弁に立った緒方町長も「皆さんの素直な気持
ちを町づくりにいかしたい。」という前置き
に一つひとつの質問に判り易く、丁寧に答弁
がされました。

議会には、町執行部、議会議員をはじめ小・
中学校から130名程度の参加がありました。

『子ども議会』をはじめます!
それではどうやら



●発行/七城町役場 企画開発課
熊本県菊池郡七城町大字甲佐町 74-1
TEL.0968-25-1000(代)
FAX.0968-25-2737

●印刷/(株)トライ



森林資源を大切に

この広報誌は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。